

日医発第 1030 号 (健Ⅱ)
令和 5 年 9 月 7 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人日本医師会
会長 松本 吉郎
(公印 省略)

令和 5 年度結核予防週間の実施について

令和 5 年度結核予防週間につきましては、厚生労働省ならびに本会、公益財団法人結核予防会等の主催により、別添実施要綱のとおり、令和 5 年 9 月 24 日より 9 月 30 日まで実施することとなりました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、周知用ポスター、パンフレットを各 1 部お送りいたしますので、掲示いただきますようよろしくお願い申し上げます。

また、郡市区医師会、関係医療機関に対する本週間実施の周知方につきましても併せてお願い申し上げます。

令和5年度結核予防週間実施要領

1 趣 旨

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律114号）では、国及び地方公共団体の責務として、教育活動、広報活動等を通じた感染症に関する正しい知識の普及等、必要な措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定されている。また、平成28年度に改正された結核に関する特定感染症予防指針（平成19年厚生労働省告示第72号）においても、結核に関する適切な情報の公表や正しい知識の普及等の重要性が規定されている。

今後、結核予防対策の一層の推進を図るためには、より多くの方々に結核に関する正しい知識を深めていただくことが重要であることから、令和5年度においても「結核予防週間」を設け、広く国民に対して普及啓発を行うものとする。

今般の新型コロナウイルス感染症にみられるように、感染症の脅威は日本のみならず全世界に及ぶ重大な課題であり、結核をはじめ感染症についての適切な情報の公表や正しい知識の普及等の重要性が高まっているものと考えられる。そのため、今年度の「結核予防週間」は、結核のみにとどまらず、呼吸器疾患などの感染症についても積極的な普及啓発活動を行い、感染症全般に対する予防対策の一層の推進を図ることとする。

2 主 催（予定）

厚生労働省、都道府県、保健所設置市、特別区、公益社団法人日本医師会、公益財団法人結核予防会及び公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

3 後 援（予定）

文部科学省、日本放送協会、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、公益財団法人日本学校保健会、公益社団法人国民健康保険中央会、健康保険組合連合会、一般社団法人生命保険協会、全国女性団体連絡協議会、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人日本看護協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、特定非営利活動法人ストップ結核パートナーシップ日本、公益社団法人全国老人保健施設協会及び公益社団法人日本精神科病院協会

4 実施期間

令和5年9月24日（日）から9月30日（土）まで

5 重点目標

国民の結核をはじめとする、呼吸器疾患などの感染症（以下、「結核等」という。）に対する正しい理解を得るため、地域の団体組織等を通じて、より一層の

普及啓発を図る。

6 結核予防週間における標語

8月中旬頃決定予定

※参考：令和4年度結核予防週間における標語

『私が結核？って思いました。

早く分かったので、今はこうして笑っていられます。』

その他、実施機関によって適宜作成するものとする。

7 実施行事等（例）

(1) 結核予防週間の周知（各主催団体）

結核予防週間のポスターを作成し、関係各機関へ配布するほか、電車・バス内での広告、懸垂幕、電光掲示板等により国民一般に対して結核予防週間の周知を図る。

(2) 資料の配布（各主催団体）

結核等に対する関心を高めるため、関係各機関等に結核等予防のためのパンフレット、リーフレット等を配布する。

(3) 講演会、講習会等の開催（各主催団体）

結核等予防活動を推進するため、関係団体を中心とした地区組織の拡充強化を図るとともに、各地において講演会、講習会、パネル展等を開催する。

(4) 児童・生徒への結核等の知識の普及（各主催団体）

結核等の正しい知識を児童・生徒に普及するため、全国の小中高等学校において学級活動、学校行事等を通じて指導するよう、文部科学省の後援により呼びかける。

(5) 街頭啓発活動の実施（各主催団体）

結核予防週間の周知と国民一般の結核等に対する関心を喚起するため、結核等予防を周知する語句の入った風船、広報ポケットティッシュ等を手渡すなどして結核等予防思想の普及を図る。

(6) 報道機関等との連携（各主催団体）

全国の主要な報道機関にリーフレット等の広報資料を配付し、結核予防週間の周知、行事の取材等を依頼する。

広報誌、関係機関誌等に結核等予防に関する記事が掲載されるよう積極的に依頼する。

(7) その他

上記のほか、各種集会の開催など各地域で適宜結核予防週間の趣旨に沿った行事を行う。

けっかく
結核
めざまう!

ゼロを

結核予防週間

9月24日→30日

シールちゃん

シールハイハイ

たすけあインコ

シールぼうや

公益財団法人
結核予防会



この印刷物は環境に配慮し、
植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。

このポスターについてのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-3-12 公益財団法人結核予防会普及広報課
【TEL】03-3292-9288 【E-mail】fukyu_hq@jata.or.jp



外国人の方へ For Foreigners

結核の知識 Knowledge on TB

HPはこちらからチェック!▶
<https://www.jatahq.org/about.tb/qa>



対応言語	Available Languages	
・英語 (English)	・ポルトガル語 (Portuguese)	・スペイン語 (Spanish)
・中国語 (Chinese)	・タガログ語 (Tagalog)	・ヒンディー語 (Hindi)
・韓国語 (Korean)	・ミャンマー語 (Burmese)	・ネパール語 (Nepali)
・インドネシア語 (Indonesian)	・ベトナム語 (Vietnamese)	・タイ語 (Thai)
・モンゴル語 (Mongolian)	・ロシア語 (Russian)	

外国人結核電話相談 Telephone Consultation Service

対応言語	Available Languages	
・英語 (English)	・ベトナム語 (Vietnamese)	・ネパール語 (Nepali)
・中国語 (Chinese)	・ミャンマー語 (Burmese)	・韓国語 (Korean)

TEL **03-3292-1219** 問い合わせ時間 **毎週火曜 (Tuesday only) 10:00-12:00 / 13:00-15:00**

複十字シール運動 ▶ 8月1日~12月31日 DOUBLE-BARRED CROSS SEALS CAMPAIGN

結核予防会では、「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。収益金は、結核予防の普及啓発活動、開発途上国への結核対策支援に活用しています。



複十字シール募金にご協力ください。

Your donation is welcome. /

シールはろうよ
フリーダイヤル **0120-416864** 結核予防会 寄附 検索
※募金は、運動期間外でも受け付けています。

パンフレットについてのお問い合わせ
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-3-12
公益財団法人結核予防会普及広報課
TEL.03-3292-9288 E-MAIL.fukyu_hq@jata.or.jp

※このパンフレットは複十字シール募金で作られています。

結核の常識

Common Knowledge on Tuberculosis

2023

結核予防週間

9月24日→30日

..... もくじ

01. 結核とはどんな病気?
02. 結核は感染するの?
03. 結核は予防できるの?
04. 結核は治せるの?
05. 日本と世界の結核

はじめに

今から70年ほど前の1950年代、結核は「亡国病」と恐れられていました。しかし、医療が進歩し栄養状態や生活水準が良くなるにつれ、亡国病から「薬を飲めば治る病気」になりました。1年間の新登録患者数は減っていき、ついに2021年の罹患率が10(人口10万に対して)を切り、日本は「低蔓延化」を達成しました。これは、国や結核予防会をはじめ、様々な組織や民間団体などが官民協力のもと、長い年月をかけて結核対策を続けてきた成果です。

ただし、コロナ禍での受診控えによる結核患者の発見の遅れ、入国制限による外国人入国者の減少などが、罹患率減少を加速したとも考えられ、油断は許されません。引き続き地道な取り組みが必要です。

低蔓延化の次の目標は「結核の制圧」です。この目標に向かっていくためには、高齢者と外国出生者の結核といった日本の現在の課題に目を向けることが重要です。そのためには、結核を早く発見し、確実に治療することが大切です。結核は、高齢になるほど咳やタンなどの症状も出にくくなり、受診や診断が遅れてしまうことがあります。これでは本人だけでなく家族や周囲の人にとっても大きな問題となってしまいます。

正しい知識が結核対策の第一歩。このパンフレットが結核を知っていただくこと、そして結核制圧の未来に向けて、お役に立てれば幸いです。

01

結核とはどんな病気?

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。最初は風邪に似た症状で始まりますが、下記のいずれかにあてはまる場合には早めに受診しましょう。

注意!

タンのからむ咳・微熱・身体のだるさが
2週間以上続いている

咳



微熱



身体の
だるさ



結核に
なりやすい人は?

- 喫煙習慣がある人
- 結核高蔓延国から来た外国出生者
- HIV感染や免疫の弱い人
- 糖尿病の人
- 人工透析を受けている人
- ステロイドホルモンを使用している人
- 胃潰瘍、胃の手術をした人

注意!

- 体重が減ってきた
- なんとなく食欲がない
- 近頃、寝汗をかいている



特に高齢者は、症状が出なくても毎年、胸部X線検査を受けましょう。

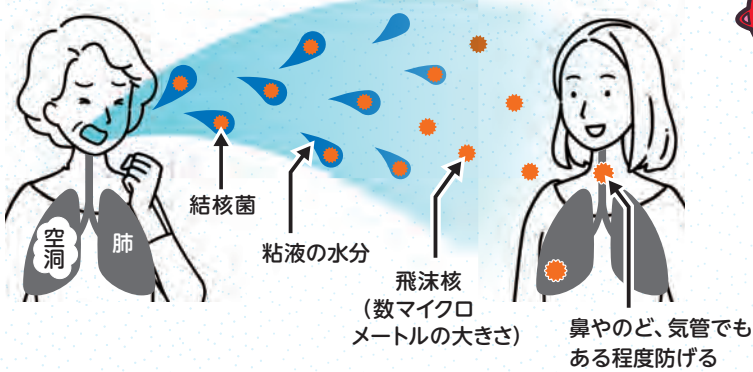
今でも1日に32人の新しい患者が発生し、
5人が命を落としている日本の重大な感染症です。



結核は感染するの？

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」といっしょに、結核菌が空气中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります。これを「空気感染」といいます。

水分を失い軽くなる
その大きさは数マイクロメートル
※1マイクロメートルは、1/1000mm



Point / 01

感染してもすべての人が発病するわけではありません。健康であれば、多くは免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまいます。

Point / 02

加齢や病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病することがあります。

Point / 03

感染しても発病していない潜在性結核感染症の人は、結核の薬を3カ月から6カ月間飲むことで発病を予防できます。

03

結核は予防できるの？

BCG接種は子どもに有効です。健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。早く見つけることが重症化を防ぎ、周囲への感染予防につながります。症状がなくても、定期的に健診を受けましょう。

- 1 適度な運動
- 2 十分な睡眠
- 3 バランスの良い食事
- 4 タバコを吸わない
- 5 定期的な健診



Point

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、予防にはBCG接種が有効です。市町村からの案内に従い生後5カ月から8カ月の間に接種してください。

04

結核は治せるの？

結核と診断されても、複数の薬を6カ月から9カ月間毎日きちんと飲めば治ります。しかし、症状がなくなったからといって治療の途中で服薬をやめてはいけません。菌が抵抗力をつけ、薬が効かない結核菌になる危険性があります。



Point / 01

治療が確実に行われるよう、入院中も退院後も医療機関と保健所が協力して服薬を見守ります。

これを**日本版DOTS (直接服薬確認療法)**といいます。

Point / 02

結核の治療費用は、届け出をすることで公的負担が受けられます。治療を含め結核に関するご心配については**近くの保健所**にご相談ください。

日本と世界の結核 2021

■ 日本の結核の現状

日本では、今でも**1年間に1万人以上**結核を発症しています。

新登録患者数※1	11,519人
罹患率※2	9.2
死亡者数	1,845人
死亡率※3	1.5

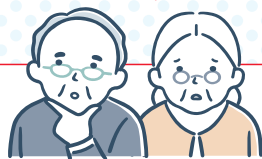
※1 1年間で新たに結核を発病し登録された人の数

※2 新登録患者数を人口10万対で示した数字

※3 人口10万対で示した数字

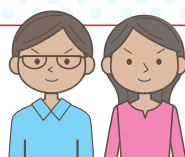
高齢者の結核

結核を発病した人の約4割が80歳以上の高齢者です。



外国生まれの患者の結核

結核を発病した人の約1割が外国生まれの患者です。**20~29歳では7割が外国生まれ**です。



■ 世界の結核の現状

世界では、**総人口の約4分の1**が感染しています。

新たな発病者数	1,060万人
新たなリファンピシン耐性結核患者数	45万人
死亡者数	160万人

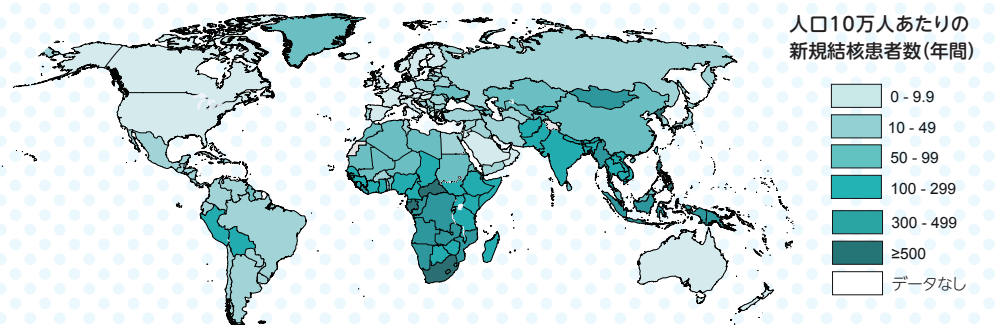
重複感染

結核はHIV感染者の大きな死因の1つです。

多剤耐性結核

薬が効かない多剤耐性結核が問題となっています。多剤耐性結核患者からの感染や服薬を中断することによって発生します。

低・中所得国に多く発生 結核患者の多数は低・中所得国から発見されています。



05